

自由記述について

さまざまなご意見をいただきました。ありがとうございます。

今回いただいたご意見を大切にしながら、次年度以降、山手小の教育活動をよりよいものにしていきたいと考えています。

今後とも、山手小学校のすべての子どもたちのよりよい学びのために、ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

学校行事・授業参観に関すること

○「運動会は全学年でしてほしい。」「他の学年も見なかったです。」という意見をいただきました。

→コロナウイルスが第5類になったことを踏まえ、今年度の運動会は全学年での実施となりました。次年度以降も、今年度同様の形態で実施していく予定です。

○「運動会の児童席に全面テントがあればいいと思います。PTA 費活用する等むずかしいのでしょうか。」「子供たちのところにテントを設置して日蔭を作って欲しいです。」という意見をいただきました。

→昨今の驚異的な暑さについては、学校としても真摯に受け止めています。現在、学校で保有しているテント数では、全ての児童席にテントを設置することは難しいですが、暑さ対策は検討していきたいと考えています。しかし、テントの購入費用の課題やテントの設置、撤去の課題等、クリアしなければいけないことも数多くあるので、PTA とも相談し改善していきたいようにしていきたいです。

○「運動会以外の学校行事でのビデオやカメラの許可をお願いします。」という意見をいただきました。

→学校としては、昨今の SNS を巡るトラブルに関して危惧しています。山手小での事案ではないですが、SNS に投稿したことにより個人情報特定されるという事案も起こっているため、そのことの注意喚起を学校から発信するとともに、保護者の皆様には一定のモラルを遵守していただくようお願いしていきます。

○「卒業式は、保護者が2名参加できるようにしてほしい。」という意見をいただきました。

→コロナウイルスが第5類になったことを踏まえ、人数制限は設けませんが、座席数には限りがありますので譲り合ってご参列ください。

○「年に1度くらいは参観を土曜や日曜開催にしてほしい。」「学年により日にちを分けるのもやめて欲しい。」という意見をいただきました。

→土曜参観、日曜参観については、ご意見を参考にさせていただきつつ、必ずしも土曜参観もしくは日曜参観が実施できるとは確約はできませんが、次年度の行事予定を検討していきます。また、授業参観については、今年度は3学年ずつ実施しました。3学年ごとの実施か全学年の一斉実施かについては、双方にメリットとデメリットとがあると考えています。そのことを校内で検討し、次年度の実施形態を決定していきます。

宿題に関すること

○「宿題の量が多く感じます。」という意見をいただきました。

→宿題の量は、学年で概ね揃えていますが、子どもたちにとって過度な負担にならないように配慮していきます。

教職員に関すること

- 「先生方の時間外勤務時間が長くならないように、業務整理や工夫をしていただきたいと思います。」
「心優しい山手の先生方がいつも元気にモチベーション高くいて頂けると幸いです。その為、先生方の業務の負担軽減が可能であれば良いと感じました。」「先生が忙しくないか心配です。」という意見をいただきました。
- 教職員の働き方にご配慮いただきありがとうございます。吹田市でも「働き方改革」の取り組みを進めております。山手小の全ての子どもたちのためにも明るく元気な教職員集団、チーム山手でいられるよう努めてまいりますので、何卒ご協力とご支援の程、よろしくお願いたします。また、今年度は、急な担任代行や指導体制の変更等で保護者の皆様にご心配をおかけしています。誠に申し訳ございません。経験年数に関係なく、山手小の教職員集団が相談できるような職場環境の醸成に取り組み、互いにフォローし合いながら、子どもたちの教育活動に尽力していきます。勤務時間外の電話対応についても、併せてご理解の程、よろしくお願いたします。
- 「様々な子どもや、出来事に対応できるだけの先生の人員が足りてないと思います。子ども育成のためにも先生のためにも、教員の数を増やして欲しいです。」「担任の先生の負担が大きいので副担任の先生がいらっしゃれば良いのにとおもいます。」という意見をいただきました。
- 教員の数は法規的に規定があり、学校の裁量で増やすことが困難です。今いる人材を有効に活用しつつ、一人ひとりの子どもたちの成長に寄り添ってまいりますので、何卒ご協力とご支援の程、よろしくお願いたします。

学級編成に関すること

- 「1クラスの人数を減らしてもらいたい、子どものためにも先生のためにも。」という意見をいただきました。
- 1クラスの子どもの数は、国や大阪府によって定められており、段階的に35人学級が実施されています。来年度は、1～5年生は35人学級、6年生は40人学級となります。但し、この数に支援学級の子どもたちは含まれません。毎年、12月と2月（必要に応じて）に行う「在籍見込み調査」に基づいて学年のクラス数が決まりますので、ご協力ください。

連絡に関すること

- 「プリント配布よりもメール配信（さくら連絡網）を増やして欲しい。」「写真の多い学校だよりなどはカラーにしてくださいか、オンラインで配信するなど工夫してほしい。」「持ち物についての連絡を、さくら連絡網でもらえると早めに準備できるので、対応してもらえると助かります。」という意見をいただきました。
- SDGsの取り組みの一環として、学校としても紙使用量の削減に取り組んでいる最中です。いただいたご意見を参考にしつつ、紙とデジタルの双方の利点を考慮しながら、「さくら連絡網」を活用してのデジタル配信も積極的に取り入れていきます。学校だよりについては、ホームページにアップしておりますので、そちらもご活用いただき、学校の取り組みについても知っていただければ幸いです。また、欠席時の連絡についても、担任が必要だと判断するプリント等については紙で届けさせていただくとともに、「さくら連絡網」も活用していくようにしていきます。

学校全般に関すること

- 「学級通信のあるなしがクラスによって違うのは少し不公平だと思います。」という意見をいただきました。
→子どもたちの学校生活の様子を少しでも知りたいという保護者の皆様のお気持ちは十分にわかります。しかし学級通信は、必ずしも出さなければならないものではありません。教職員の業務負担軽減のためにも、ご理解いただければ幸いです。
- 「児童や保護者の立場に立った考えや行動が必要だと思います。」「子供に寄り添った教育をしてほしい。」という意見をいただきました。
→今、一人ひとりの子どもに寄り添った教育活動をしていくことが学校に求められています。限られた人材の中で、学校の組織力も活かしながら、最大限、期待にお応えできるように教職員一同尽力していきますので、ご理解いただければ幸いです。
- 「(いじめについて) こどもたちをみていると、道徳的なことはわかってるけど、それはそれ、という感じがしてしまいます。発達の、年齢時期的なこともあると思いますが、学校で何を学ぶか、みんなでどう取り組んだかという経験は、この年齢のこどもたちにとってとても大事なことだと思います。」という意見をいただきました。
→吹田市では、公益社団法人 子どもの発達科学研究所の協力のもと、「いじめ予防プログラム TRIPLE-CHANGE」に取り組んでいます。山手小でも、毎年どの学年でも実施しています。いじめかもしれない出来事が起きたとき、その被害者や目撃者がどのような行動を取ればいいのか、ということについて、既にいくつかの研究があり、その中から3つの行動を取り上げています。それが「や・は・た」です。いじめ対応の合い言葉「や・は・た」について詳しく学んでいます。今後も、子どもたちをいじめに向かわさないように教職員一同、工夫を凝らした授業を実践していけるようにしていきます。
- 「トイレ掃除は児童がやるのではなく専門業者がやるべきと思います。」という意見をいただきました。
→定期的に専門業者によるトイレ清掃も行っております。ご理解いただければ幸いです。
- 「クラス名簿があった方がよい。」という意見をいただきました。
→個人情報保護の観点から、昨年度より名簿の配布をしておりません。ご理解いただければ幸いです。

防犯に関すること

- 「門のセキュリティが甘いと思います。カメラの設置などの対策を検討してもらえないでしょうか。」という意見をいただきました。
→警備員に周知して警備意識を高めていくとともに、来校者のチェックも入念に行っております。また毎年実施している不審者対応訓練等も生かして防犯対策をしております。さらに防犯対策として、今年度、正門、通用門に防犯カメラを設置しております。

給食に関すること

- 「給食をグループごとに食べるなどもう少し食事の時間が楽しくなるようにしてほしいと思います。」という意見をいただきました。
→コロナウイルスが第5類になりましたが、令和5年4月に出された「市立小・中学校の今後の教育活動について」の「7 給食及び昼食について」に、「手指衛生、座席配置の工夫、適切な換気の確保等、基本的な感染対策を実施すること。」と記載があります。この記載に

基づき、吹田市では給食時間等の喫食場面において、1m 以上の間隔をとることを基本としています。今後、次第に緩和していくことも考えられますが、現状としては、1m 以上の間隔をとれない以上、グループでの喫食はしていません。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

課外クラブに関すること

○「先生、生徒のためにも部活をすみやかに地域移行してください。」という意見をいただきました。

→課外クラブの地域移行に関しては、吹田市としての動向や地域の実態等にも配慮しつつ検討していく方向ではあります。現時点で詳細が定まっていない状況なので、いただいたご意見も踏まえながら進めていきたいと考えています。ご理解いただければ幸いです。

※PTA 関連のご意見については、PTA にお伝えしています。

※この他にもご意見、励ましや感謝のお言葉もたくさんいただきました。全教職員で共有し、よりよい学校運営に努めていきます。